

私たちの文化

2・3 60周年特集 日立市民会館60周年に寄せて
4・5 60周年特集 日立市民会館60年の軌跡
6 60周年特集 ライブハウス 日立市民会館へようこそ
7 60周年特集 日立市民会館 いま、むかし



8 〈特別寄稿〉「石のこえ みらいのまち」上演に寄せて
 郷土の歴史との出会い② 綿引 逸雄さん 10
 将棋への魂② 矢代 豊さん 11
 日立市民会館60周年記念事業の案内 12



日立市民会館竣工当時（昭和40年9月）

祝 日立市民会館 開館60周年



現在の日立市民会館

第二次世界大戦終戦後、荒廃からの復興に伴い、美術、音楽、演劇、書道などの芸術諸分野の活動が盛んになりました。しかし当時の日立市にはそれらの活動や発表の場となる建物が満足になく、市民の間で新たな施設の建設を求める声が高まりました。その声は大きなうねりとなり、文化協会が中心となって市民会館建設の署名運動、そして建設資金の募金活動に発展していきました。

そのような時代背景があつて日立市民会館は誕生しました。建設されたのは昭和40年（1965年）、高度経済成長の最中のことです。若葉町にあった公会堂の建物を取り壊し、1,500人を収容できるホールを備えた3階建ての市民会館を建造しました。建設当時は茨城県北で随一の収容人数を誇り、県内全体でもトップクラスの規模でした。

日立市民会館では開館直後に第一回日立市美術展覧会が開催されたほか、歌舞伎、寄席などの伝統芸能やミュージカル、コンサート、小学校観劇会、文化サロンや各種講座などさまざまな文化的行事が開かれ、日立市民の文化活動向上に寄与し続けてきました。東日本大震災や新型コロナウイルスの感染拡大など度重なる逆風に見舞われながらも、今年で60年を迎えました。そして今、次の61年目への一步を踏み出します。

日立市民会館60周年に寄せて

「所縁のある方からのメッセージ」

日立市民会館が開館60周年を迎えるにあたり、これまでさまざまな形で日立市民会館に関わってこられた方々からメッセージを頂きました。

日立市 小川 春樹 市長



日立市民会館は、市民の皆様からの文化・芸術活動拠点への強い要望と浄財を受け、市制施行25周年を記念して建設され、昭和40年（1965年）9月15日に開館してから本年度開館60周年を迎えました。

開館以来、市民の皆様とともに歩みを進め、音楽や演劇、講演会など多彩な活動の舞台となり、世代を超えた交流と学びの場を提供してまいりました。

平成23年（2011年）には、東日本大震災により大きな被害を受けましたが、市民の皆様の文化・芸術への強い思いに支えられ、復旧を果たすことができました。

そして、令和の時代となり、

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業の自粛や会館の閉鎖など、大きな影響も受けましたが、これら乗り越えながら、確かな歩みを進めております。

変わりゆく時代の中にありましても、当会館が、本市の文化・芸術の殿堂として、これからも市民の皆様にあられる施設であり続けることを願っております。最後になりますが、60周年を迎えることができましたのは、市民の皆様の日頃からの温かいご支援とご協力の賜物でございます。今後とも、当会館に足をお運びいただきますよう心よりお願い申し上げます。

（公財）日立市民科学文化財団

森 秀男 顧問

「日立市民会館」建設には当時全市を挙げて官民一体で熱い活動が展開されていたのが強く

印象に残っています。造る時から市民が積極的に関わっていたようです。開館当時私は三十代で企業人としての毎日でしたが、青年会議所の役員を務めていたこともあり、イベントを企画した時等、市民会館をよく利用させて頂きました。

そこで各界の文化人や著名人と交流する機会に恵まれて私の人生観まで変わりました。それまで豊かさとは経済であるとの思いから、文化に触れ理解することからの「感動」する「心の豊かさ」の大切さに気付かされました。本当の豊かさには文化は欠かせないものであることを体得しました。このことは後に私の財産になり、いつも感謝しております。

そこで私は心ある先輩達と共に灰色の街といわれていた日立を心豊かな文化のまちへと変えるべく草の根運動に取り組み、日本で初めて「財団法人日立市民文化事業団」を昭和51年文化の日に設立させました。私は初代の専務理事に就き、個人では一番の出捐者にもなりました。それから3年経過して日立市はこれまた全国初で、今の指定管理者制度で民間の財団に公設の市民会館の管理運営を委託したのです。

この二つのことは我が日立市



にとつて素晴らしい出来事であり、当時の市職の方々の見識や先見性は全国的にも誇り得るものがありました。その意志は現在の指定管理者である「公益財団法人日立市民科学文化財団」が引き継いでいます。

マイナー産業といわれた「文化」が自他共に認める成長産業となった現在、市民が主役で造られた「日立市民会館」が、文化の豊かさの発進拠点として生きいきとして市民のためその役割を果たし、もう一度、全国のモデルケースになるような活動実績を挙げるよう期待しています。

旧日立市民文化事業団友の会役員

長山 和子様

私はいわき出身で、結婚を機に日立市に移り住みました。市民会館の近くに住んでいましたが、当初は機会がなかったためあまり足を運びませんでした。当時友人の一人に市民会館勤めの橋本さんという方がいたので、ある時「『私たちの文化』

に短いコラムを書いてほしい」と頼まりました。そこで私が書いた文章が当時の文化事業団理事長だった瀬谷義彦先生（故人）の目に留まり大変褒めてくださったことがきっかけで、文化事業団友の会に誘われ、ひいては市民会館に関わるようになりました。

友の会がきっかけでさまざまなコンサートを鑑賞するようになりました。印象に残っているのは東京スカパライズオーケストラのステージです。最初は興味がなく半ば義理でチケットを買ったのですが、会場で聴いてみたら沼に嵌まってしまいました（笑）。また玉置浩二のコンサートも白のTシャツにジーパンというシンプルながらも恰好がとても素敵で、一気にファンになってしまいました。

市民会館で行う郵送物の発送やコンサートのチケットもぎりなども友の会役員としてよくお手伝いに行きました。また友の会の事業企画を他の役員とワイワイ言いながら打ち合わせしたのがすごく楽しかった記憶があります。

時代は移り世代が変わったと感じる今日この頃ですが、私を楽しませてくれるものはまだまだたくさんあると感じています。

（次頁へ続く）

(前頁の続き)

日立市民会館が市民の皆さんにとつて楽しみを提供してくれる場所として今後も在り続けて欲しいと願います。

日立市少年少女合唱団元団長

川崎 壽光様

私は元々学校で教壇に立っていたのですが、教職を退くことになった際、文化事業団の方からお声がかり少年少女合唱団の指導者に就くことになり、その縁で平成13年から団長を務めさせて頂きました。

少年少女合唱団が出演するのが毎年の恒例だった小中学校音楽会、平成20年に茨城県で開催された国民文化祭など、合唱団ではさまざまなステージでタクトを振りました。また橋幸夫さんや米米C.L.U.Bの石井竜也さんといった大物芸能人との共演も子どもたちにとってはかけがえのない経験になったと思います。そのどれもが日立市民会館のステージでした。

私が合唱団と関わるようになる前の活動拠点は日立市民会館ではなく他の場所を借りていたそうです。やがて日立市民会館に活動の場所を移して今に至りますが、やはり拠点となる場所があるとさまざまな面で都合が

よく、市民会館をホームグラウンドとして使わせてもらっていることは大変ありがたいことだと感じました。余談ですが、最初の頃に教えていた子どもたちが成長し今度は親の立場となつて自分の子どもを連れてくる姿を目にすると感慨深いものがあります。市民会館と共に私も子どもたちと一緒に成長できたのかなと感謝しております。

元日立市職員

金沢 正雄様

日立市民会館が竣工してから日立市民文化事業団が管理を委託されるまでは市の直轄で、運営も市職員の手によるものでした。当時は館長を筆頭に12、13名が在籍していました。そのうちホール担当は6名だったと記憶しています。

私は市民会館の開館間もないころから12年ほど在籍し、音響や照明、ピンスポットライトの操作など多岐に渡る現場仕事を担っていました。私がいた頃は土日はもちろん、平日も貸館イベントで埋まっていました。当時は歌謡ショーが多く入っていて、必ずオーケストラピットを作つて生演奏するスタイルでした。歌謡ショー以外のどんな貸館興行を入れてもお客が入った



という印象があります。ただ、その分職員も毎晩遅くまで残業して対応しなければならず、月の残業時間は相当なものになりました。家に帰る時間がなく、楽屋で緋毛せんを敷いて寝たこともありました。目が回るような忙しさでしたが、とても楽しかった記憶があります。

当時はなんでも自分たちの手でやりました。ホールロビーのベランダにギャラリ看板という事業の看板を掲げるのですが、これは職員が自分たちの手で描いていました。また人前式(自分たちは日の丸結婚式と呼んでいました)の準備もホール業務の合間に行いました。庭木の剪定も自分たちでやっておりある時夾竹桃(きょうちくとう)という木を伐採したのですが、その木をいたく気に入っていた当時の市長の怒りに触れ大騒ぎになってしまったこともありました。

舞台ではさまざまな芸能人との出会いがありました(出会いというよりもぶつかり合いと言った方が正しいでしょうか)。常識ではあり得ないような照明演出を注文してきた歌手、39℃

の高熱がありながら楽屋に町医者待機させ、休憩の度に注射を打ちながら舞台上に立った演歌歌手、「冷暖房の運転音がうるさいから機械を止めてくれ」と言ってきたピアノリスト、ピアノの上に水入りのコップを並べ始めたため口論になったロッカー、付き人を多数引き連れ、自身の名前入りのマイクしか使わなかった歌手など、忘れられないエピソードが山ほどあり、今でも私の大切な思い出として生きています。

ピアノ調律師

酒井 隆様

一音一音大事な音が重なって音楽はできていくというお話を若い頃に市民会館で聴いたことがあります。調律の仕事に就いてそのことが実感できました。日立市民会館にはこの仕事を目指すきっかけをいただいたと思っています。

初めて市民会館でお仕事をしたのは、23歳の時でした。スタジオウェイとヤマハCF2台を備えた市民会館はまさに音楽文化の中心地なのだと感じたことを覚えています。また、昭和50年代にヤマハCFをオーバーホールしたと思うのですが、その工程にも携わりました。その

時、弦をドイツのレスロー社製のものにしたと記憶しています。非常に高価な弦ですので、ずっと使い続けていくのだという思いもあつたんでしょうね。仕事の上で、様々なアーティストのリハーサルにも携わりました。服装や雰囲気はオフの状態ですが、ピアノを弾き始める様子は一変。さすがの演奏に本番前にもかかわらず感動したこともしばしばでした。また、リチャード・クレイダーマンという世界的ピアノリストは、本番前のステージで、調律も清掃も終わったピアノに近づいて、自ら鍵盤を拭き始めました。わずかな時間とはいえ、このピアノで自分のパフォーマンスを100%発揮できるようにと愛情を注いだのだと思います。一流アーティストたる所以ですね。

若い頃の感動は大人になっても記憶しているものです。学校の授業では学べない良質の音楽や演劇を体験して、大人になつてからの糧にしてみたい。市民会館には更に長生き(?)してもらつて、これからも市民の皆さんに感動を与えてもらいたいと思います。



60年の軌跡



日立市民会館が産声を上げて今年で60歳。
この60年間のどのような道のりを歩んできたのかを
紐解いてみたいと思います。

1964年 (昭和39年) 公会堂跡地に総工費3億7千万円をかけ建設着工

1965年 (昭和40年) 9月15日 日立市民会館開館及び市制25周年記念式典開催

市民団体による柿落し公演開始

9月 日立市美術展覧会開催／開館イベントとして

NHK「のど自慢」開催

10月 オパール婦人会が母子像建立、寄贈

11月 市報にて結婚式場をPR。

1日6組まで挙式可能

(のちに7組に拡大)



1966年 (昭和41年) 1月 開館後初の成人式開催

日立市の文化拠点として大小さまざまな公演がおこなわれた。

1967年 (昭和42年) 劇団仲間を招聘して、初の小学校芸術鑑賞会を開催



1980年 (昭和55年) 9月1日 市制40周年記念式典開催

1981年 (昭和56年) 第1回文化サロン開催 (私の棟方志功)

1985年 (昭和60年) 第1回ピッピコンサート開催

1990年 (平成2年) 昭和40年代に盛況であった結婚式の件数が激減。2階の結婚式場の利用を停止。

1985～2005年 この頃の主な公演

- ・南こうせつ
- ・セツアンの善人(栗原小巻)
- ・井上ひさし
- ・松山千春
- ・松竹大歌舞伎
- ・CHAGE and ASKA
- ・さだまさし
- ・玉置浩二
- ・中山美穂
- ・葉加瀬太郎
- ・シヤ乱Q



1980～1984年 この頃の主な公演

- ・郷ひろみ
- ・シャネルズ
- ・永八輔



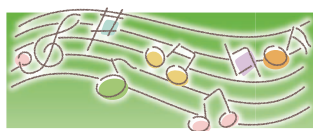
1967～1984年 この頃の主な公演

- ・岡本太郎
- ・三波春夫
- ・美空ひばり
- ・水前寺清子
- ・小林旭
- ・松竹大歌舞伎



●国内の主なできごと

- 東海道新幹線開通／東京オリンピック開催 (1964年)
- 日韓基本条約調印／いざなぎ景気の開始 (1965年)
- ビートルズ来日／日本テレビ系列で『笑点』放送開始 (1966年)
- 日本初の超高層ビル『霞が関ビル』完成／三億円事件発生 (1968年)
- あさま山荘事件 (1972年)
- セブンイレブン国内第1号店が開店 (1974年)
- 子門真人の『おやげ! たいやきくん』が大ヒット (1976年)
- テレビ朝日系列でアニメ『ドラえもん』放送開始 (1979年)
- ホテルニュージャパン火災／テレホンカード発売 (1982年)
- 東京デイズニールランド開園／三宅島大噴火 (1983年)
- ファミリコンコンピュータ用ソフト『ドラゴンクエスト』発売 (1986年)
- 国鉄が分割・民営化。JRグループが発足 (1987年)
- 昭和天皇崩御。昭和から平成に改元 (1989年)
- 丸の内から新宿副都心へ東京都庁舎が移転 (1991年)
- Jリーグ開幕／姫路城、屋久島などが日本初の世界遺産に登録 (1993年)
- 阪神・淡路大震災が発生／地下鉄サリン事件 (1995年)
- 失楽園ブーム (1997年)
- 『だんご3兄弟』が大ヒット (1999年)
- FIFAワールドカップ・日韓大会開催 (2002年)
- 郵政民営化関連法案可決、成立へ (2005年)



日立市民会館

2011年
(平成23年)

東日本大震災の影響によりイベントが中止
(～H25年10月まで) 休館を余儀なくされる。

2013年
(平成25年)

10月20日 日立市民会館再開記念事業・再開記念のつどい開催
(ゲスト：安田祥子)

10月27日 再開記念事業・石井竜也コンサート

11月1日 一般向けに利用再開

11月14日 再開記念事業・藤原正彦講演会

2015年
(平成27年)

4月1日 日立市科学文化情報財団と日立市民文化事業団が合併。

公益財団法人日立市民科学文化財団が誕生。

11月 この年の公演を最後に小学校芸術鑑賞会が幕を閉じる。

2019年
(令和元年)

市内施行80周年記念式典にて新どん帳「春風光る」披露。

2020年
(令和2年)

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るつ。イベント中止が相次ぐ。

2021年
(令和3年)

キープディスタンス等を条件に公演が徐々に再開。

2023年
(令和5年)

5類移行に伴い客席等における制限もなくなり、イベント数も回復に向かう。

2025年
(令和7年)

日立市民会館開館60周年を迎える

2023～2024年 この頃の主な公演

- ・稲川淳二
- ・平井大
- ・フォアレゼン
- ・純烈
- ・ORANGE RANGE
- ・森高千里
- ・湘南乃風
- ・高嶋ちさ子
- ・キウワラシックバレエ

2016～2019年 この頃の主な公演

- ・一青窈
- ・平原綾香
- ・渡辺美里
- ・布袋寅泰
- ・DRUM TAO
- ・沢田研二
- ・竹原ピストル



2013～2015年 この頃の主な公演

- ・アンジェラ・アキ
- ・綾戸智恵
- ・May J.
- ・きゃりーぱみゅぱみゅ



・リーマン・ショックに端を発する世界同時不況 (2008年)

・東日本大震災が発生 (2011年)

・東京スカイツリー竣工 (2012年)

・富士山が世界文化遺産に登録される (2013年)

・万能細胞(STAP細胞)騒動 (2014年)

・ラグビーワールドカップ2015で日本が南アフリカに歴史的勝利 (2015年)

・熊本地震が発生 (2016年)

・稀勢の里が横綱昇進。日本出身力士としては19年ぶり (2017年)

・明治以降初の天皇の譲位により、平成から令和へ改元 (2019年)

・新型コロナウイルス感染拡大。緊急事態宣言発令 (2020年)

・コロナの影響により延期されていた東京オリンピック開催 (2021年)

・奈良県で安倍晋三元首相が銃殺される (2022年)

・新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが5類に引き下げ (2023年)

・新紙幣発行。渋沢栄一や津田梅子など肖像画が一新される (2024年)

・日本国際博覧会(大阪万博)が開催 (2025年)





ライブハウス日立市民会館へようこそ!!

アラカンの諸君なら、聞き覚えのあるフリースだろうか? 「ライブハウス武道館へようこそ!!」伝説のバンドBOW Yの氷室京介氏が放った有名な

「よー」と話し、葉加瀬太郎氏も「この会館好きなんだよ、みんなと近いし、レトロな感じがすごくいい」と言っていた。最近では森高千里氏が「みんなと近い、近すぎる!ちよっと下がろうかな。(ファンからの「えー!」というブーイングがあつて)うそで!!」と、立ち位置に戻ったエピソードは関係者の間でもその後しばらく話題に上った。



近年、推し活が盛んだが、とあるアーティストの熱狂的なファンは言う。「全国ツアー開催時にはドームクラスの大きなホールもいいけど、地方の千五百人クラスのホールのほうが推しとの距離が近くて顔がよく見える。だから地方のホールで推しのライブが開催されるときは、絶対参加することにして

ている」。

フリースである。そのライブハウスのように演者（アーティスト）と観客の距離が近いのが「日立市民会館」。過去には布袋寅泰氏が、「この箱好きなんだよ、みんなの顔がよく見える。2階の一番後ろまで、よく見える

日立市民会館のホールと客席がどのくらい近いか検証するとしよう。まずかまち(框。ステージの前面にあたる部分)から1列目の席までは1・6m。汗が飛んできてもおかしくない。1



2階席からの眺め

様と距離の近い当会館をご利用ください。客席との一体感が出来て盛り上がるのと間違いない!!そして推し活をされている熱狂的なファンの皆様、全国ツアーに当会館の名前があつたら真っ先にチェックして!!

ちなみに、東京から特急で約1時間半と、都心からの距離も結構近い。お車でお越しの場合、常磐自動車道は最寄りの日立中央インターを降りて、10分弱で到着する。会館専用駐車場は90台ほどと少ないが、周辺には有料駐車場が豊富にあり、一日最大料金2000〜6000円と、かなり格安である。皆様のご来場を心よりお待ちしております!!



開館当初のステージから見た客席

日立市民会館

いま、むかし

昔はこんなこと、ありました



1 池をライトアップ

日立市民会館1階事務室の前は、現在こそ整備され駐車場になっているが、建設当初は池があった。当時としては珍しく池の中に照明設備がついていてイルミネーションの先駆的な試みをしていたのだと思う。

また、池の中でナマズなどの淡水魚を飼っていた。大雨が降った時に池の水が溢れて流されてしまったため、職員がフナやゴイを持ち寄って池に放しだしていた。

2 結婚式は人前式

国旗を前にして挙げるため、日の丸結婚式とも呼んでいた。神主に相当する立場は館長が務め、巫女の代わりは女性職員が行い、三々九度お酒を注いだりもした。最大で一日に7組が式を挙げることで、最盛期の回転率は非常に高かった。



手作りの結婚式ならではのトラブルもあった。挙式を終え、通常であれば参列者が披露宴会場に入っていくところが、誰も部屋に入っていない。実は席次表を用意していなかったのだ。「ごりやまずい」ということで、幸運にも仕出し業者が一枚だけ持っていたものを借り受け、急ぎコピーして配り、また席札も全員分を手書きで作り何とか披露宴を乗り切ることができた。また別の結婚式で「席順が違う」と怒り出し、新婦を大泣きさせ、ついには周囲のなだめる声も聞かず帰ってしまった親族

3 コーヒーの香りに包まれて

がいた。後で聞いたところによると新婦は中部地方の出だったそう。出身地が異なるが故に、しきたりや作法もまた異なり、このような悲劇につながってしまったのだろうか。

地下にあった喫茶店のお話。店内にはピアノが置いてあって、いつもおしゃれなBGMがかかっていた。市民会館にイベントや利用者があるしにかかわらず、いつもお客さんがいて、コーヒーを飲みながらママさんと世間話を楽しんでいた。平成の初め頃の記憶では、コーヒーとサラダ付きのエビピラフセットが700円くらいだったと思う。喫茶店が無くなってかなりの年月が経つが、「喫茶店あったよね？」と聞いてくる来館者がいる。市民の憩いの場として認知された、隠れた名店だった。



4 雨漏りの原因はカラス？

ある時、ホールロビー2階の至るところで頻繁に雨漏りが起こるようになった。原因を探るために屋上に上がると防水シートがそこかしこで食い破られている。おそらく犯人はカラス。その後別な素材のものに貼り替えたところ被害は収まったが、カラスの舌には市民会館の防水シートが美味だったのだろうか？



5 壁から化石発掘！?

日立市民会館のホールロビーの壁材には地層から切り出されたものが使用されている。よく見ると貝の化石が埋まっている。中にはアンモナイトなどの貴重な化石も。ある時地質学専門の先生に分析してもらったところ、比較的新しい年代の地層のものだそう。ただ、柔らかい岩質のため訪れた小学生たちの格好の標的になって「発掘」が繰り返されてしまった。今でも壁をよく見ると小さな穴が無数に空いている。

6 偽のグッズ販売が横行！?

日立市民会館には誰もが知っている有名アーティストや大物ロッカーが何度も来てコンサートを開いているが、そんな時によくあったこと。ホールロビーで販売しているグッズは当然所属事務所公式のものだが、ロビーの外でも似たようなグッズが販売されている。職員が調べようと近づくと、販売スタッフが一目散に逃げてしまふ。その正体は、偽物のグッズを販売する悪徳業者なのであった。

7 舞台上立てば

高齢で腰の曲がった発表者でも、緞帳が上がり観客が視界に入ると背筋を伸ばしてシャキッと立って唄う人は何人もいた。しかし発表が終われば舞台袖に引込むと、緊張が解けたのか途端にぐったりという有り様。そんな人を介助し近場の病院に連れていくのもまた会館職員の務めなのであった。

ご協力いただいた元日立市民会館職員のWさん、Sさん、Kさん、ありがとうございます。

特別寄稿

日本一古い大地と歴史 —ヒタチの音— 響きを未来へ紡ぐ市民演劇

文：海老沢 貴志

プロフィール



海老沢 貴志(えびさわ たかし)
株式会社みろっく代表取締役。
キャンプ場 フォレストピア七里の森
代表。
日立地方の歴史を個人で研究しており、特に古代史に造詣が深い。かつてひ
たちの文化に連載あり(「知られざる
ディープな日立」)。

多賀市民会館ホールで令和8年2月に上演を予定してい
るひたち市民劇「石のこえ みらいのまち」の実行副委員
長を務める。

2026年2月7日・8日、多賀市民プラザで市民参加型シアター『石のこえ みらいのまち』が開催されます。ここで上演される舞台は、壮大な時間旅行です。物語は5億年前——カンブリア紀の地層から始まります。かつて大陸の一部だった岩盤が長い歳月を経て海を渡り、今の「日立の大地」となりました。その地層は、地球の記憶を宿す巨大なアルバムです。

やがて親潮と黒潮がこの浜を洗い、人々を運びました。海流に導かれ世界各地から渡来した民は、この地に集い、やがて日本最古の国…日高見国を

形づくっていきます。海辺には祈りの場が築かれ、大甕倭文神社に祀られる天津甕星・香背男の伝承が語り継がれました。日立はすでにこの時代から多様な文化と人々が交差する「海の交差点」だったのです。

時代は下り、江戸期には徳川副將軍家がこの地に入りました。藩政のもと、各地から武士や職人、商人が集まり、山と海に抱かれたこの土地は独自の活気を帯びていきます。

ひたち市民シアター
HITACHI
CITIZEN THEATER

が、秋田の小坂銅山から多くの
人々を引き連れ、日立鉾山の開
発に挑みました。そこへ、久原
に呼ばれた小平浪平が加わり
やがて日立製作所が誕生しま
す。さらに鉾山と製造業を基盤
に、J×日鉾グループなどの企
業群が発展し、全国から技術者
や労働者、その家族たちが日立
に移り住みました。

この街は、古代から現代まで、
一つの共通点を持っています。
それは「常に新しい人が集まり、
新しい物語を創ってきた」とい
うことです。大陸から切り離さ
れた地層が新しい地形をつく
り、黒潮が新しい民を運び、時
代ごとの指導者や企業が全国
から人々を呼び寄せた——日立
は、時を越えて人々の挑戦心を
受け入れるフロンティアだっ
たのです。



しかし歴史は、栄光と試練を
交互に運びます。戦中の大空襲
で街は壊滅的な被害を受けま
した。しかし市民は瓦礫の中か
ら再び立ち上がり、高度経済成
長期には日本有数の工業都市
へと復活しました。バブル崩壊
と産業構造の変化により人口
減少が進む現代においても、行
政・企業・市民が垣根
を越えて、新たな未来を
描く動きが生まれてい
ます。

今回の市民シアター
の舞台は、こつした日立
の「集まり、創り、乗り越
えてきた歴史」を、太古
から未来へとつなぐ物
語として描きます。出演

参加者は常時募集中です。ご
興味ある方はQRコードから
公式ホームページをご確認く
ださい。



「流水会」日本舞踊
こども教室

日本舞踊こども教室は昭和53年にはじまり、早50年近く、礼に始まり礼に終わるといわれる正しい礼儀作法を教えることができました。花ノ本流、若柳流、若狭流の3流、流儀を越えて日本舞踊を教えています。

日本舞踊という伝統芸能が今に生きる表現として、現代社会にどう響くか、真正面から向き合い、少しでも日本舞踊を一般の方々にもわかっていただけるよう、努力し、指導してまいります。

楽しく日本舞踊を踊ってみませんか？

さまざまな
文化に触れよう！

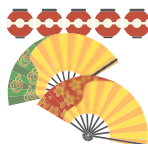
日立市文化少年団ご紹介 ⑩

日立市文化少年団をご存じでしょうか？日立市では現在25の文化少年団がさまざまな分野で文化活動に取り組んでいます。どの団体も幼少期から多様な文化に触れ、日本の伝統文化や新しい生活文化を学ばせることを目的としています。また、次世代への文化の継承という意味でも文化少年団は大切な役割を担っています。毎号2団体ずつ、本誌面で紹介していきます。



「流水会」日本舞踊こども教室の案内

活動日 毎月第2、3土曜日
活動場所 田尻交流センター
入団条件 幼稚園児から高校3年生まで
会費(参加費) 2,500円/月 ※足袋をご持参ください。
申込・ 花ノ本 徳一郎 21-2387
問合せ先 若柳 ゆかめ 21-2698
若狭 彰 42-7690



常陸之國御諏訪太鼓保存会
保存会少年部

常陸之國御諏訪太鼓保存会は、日立市諏訪町の御諏訪神社に所属する和太鼓の団体です。壮年部、青年部、少年部の3部から構成され、実働部隊は青年部、少年部が担当しています。※少年部は小学1年生から中学3年生まで、青年部は高校生以上です(特に制約は設けていません)。

元旦の御諏訪神社への初打ち太鼓奉納を皮切りに、地元諏訪学区の盆踊りや秋祭りでの演奏、市内各所にて開催される行事(ひたちこども芸術祭、日立さくらまつり、日立港まつりほか)での演奏など、「郷土芸能の伝承と地域の発展を目指して、一打入魂」を合言葉に、精力的に活動しています。

Instagram、X(旧Twitter)をやっています！

日々を詠む

《選・評 奥井 能哉》

今から四年前に、作者の米寿の記念として出版した句集『湖雪』の中の一句である。長年俳句結社に所属して、日常の身の辺の出来事を詠み続けてきた作者の「生きた証」となっている句集である。収録句の殆どがリズムよき定型句で、身近な季語と照応させ、平易な言葉で詠まれており、読後感が心地よい。残念ながら作者は七月に急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。

ゆったりと 楽しむ余生 虹二重

深谷 節子

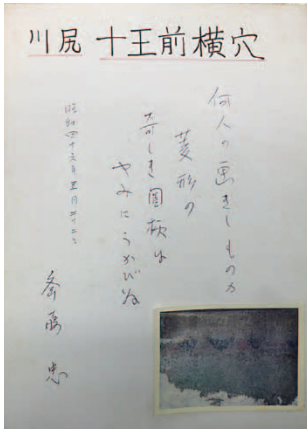


常陸之國御諏訪太鼓保存会少年部の案内

活動日時 毎週金曜日午後6時30分から午後8時まで
活動場所 諏訪神社境内 郷土芸能練習場(諏訪小学校正門前)
入団条件 小学1年生から中学3年生まで
会費(参加費) 5,000円/年(一家族何人でも)
申込方法 ショートメールまたはEメール
申込・ 海老澤 佑希奈 090-3317-2228
問合せ先 h.osuwadaiko@gmail.com



Twitter、Facebookにて、「常陸之國御諏訪太鼓保存会」で検索してください。

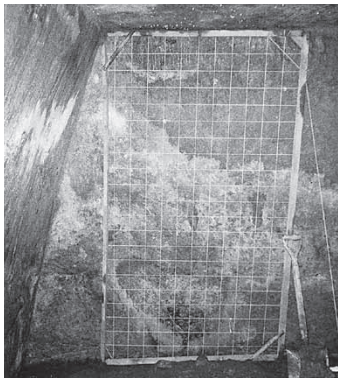


斎藤先生の歌

無を調査しました。結果、崖面に3段にわたって総数26基の横穴があり、それぞれに番号付けをした結果、2号・11号・14号の3基に装飾があることがわかりました。月に2度ほど遺跡に通い、壁面の装飾を数日かけて写す作業



三角連続文



実測の遣り方

「何人の 描きしものか 菱形の 奇しき図柄は 闇にうかびぬ。これは昭和46年に、かんぶり穴（十王前）横穴墓群を調査した折、考古学者の斎藤忠先生が、誰が、なぜ描いたのか、なぜ菱形なのかを詠んだ歌です。川尻町の十王川の畔にあるかんぶり穴横穴墓群は、古墳時代末から奈良時代にかけたの墓です。大変貴重な装飾があることから、日立一高史学部が市教育委員会

現地では実測のために長さ2mほどの角材で枠を作った中に10cm方眼に水糸を張った遣り方を作り、実測しました。壁面の装飾に触れないように枠を壁面ぎりぎりにあて、どこが赤色でどこが黒色か、また刻まれた線はどこで交わり、どこで止まるかなど、一点一点確認しながら方眼紙に写し取る作業です。また、それぞれの横穴の位置を確認する一方、横穴内の装飾の有

無を調査しました。結果、崖面に3段にわたって総数26基の横穴があり、それぞれに番号付けをした結果、2号・11号・14号の3基に装飾があることがわかりました。月に2度ほど遺跡に通い、壁面の装飾を数日かけて写す作業

社会教育課の依頼により、壁面実測（1月24日～7月4日）を行いました。



かんぶり穴横穴 1号墓



11号横穴の奥壁

でした。生（なま）の歴史に触れ合え、終了した時には達成感でいっぱいになりました。

横穴墓の中で装飾が良く残る11号横穴は、6畳ほどの広さで高さは2m程度です。奥壁上部の壁には赤と黒の連続三角文があり、中段には水平方向の赤い線の上に盾・大刀と思われる装飾などが残っていました。また、2号横穴墓には線刻の斜格子文が残っています。

その後、かんぶり穴横穴墓群は昭和56年に市の史跡に指定されました。令和3年には東京芸大の学生がデジタルカメラ機器を使った調査を行い、盾・大刀以外の装飾は胡録（ころく）であると確認しました（詳細は博物館発行の見学用リーフレット『よくわかる！かんぶり穴横穴墓群』を参照のこと）。

現在、地主や地元有志の方々と組織する「かんぶり穴を守る会」の皆さんが、保護・啓発活動を行って、見学しやすいように環境整備してくれています。見学会も適時行っています。

郷土の歴史との出会い ②

— 綿引 逸雄 —

奇しき図柄・・・かんぶり穴横穴墓群の装飾

元大みか小学校長。社会科教諭。教育の場実験考古学の成果を活用する活動（火起こし・土器づくり）等を行う。ふるさと文化少年団顧問。日立市郷土博物館研究員。

日立シビックセンター 催し物ご案内

読売日本交響楽団（珠玉の二大名曲を聴く） チャイコフスキー＆ラフマニノフ

魂を揺さぶる迫力のサウンド&心震わす哀愁のメロディ

日時 12月7日(日)
午後3時開演(午後2時15分開場)
会場 日立シビックセンター音楽ホール
料金 全席指定 S席 5,000円、A席 4,500円
B席 3,900円、高校生以下 2,500円
未就学児入場不可
出演 海老原 光(指揮)、石井 琢磨(ピアノ)
問合せ 日立シビックセンター 0294-24-7720



海老原 光(指揮)



石井 琢磨(ピアノ)

ワンコイン・コンサート シリーズ

Irish Music Night! with O'Jizo



日時 11月7日(金)
午後6時開演(午後5時30分開場)
会場 日立シビックセンター多用途ホール
料金 全席自由 500円(3歳未満膝上鑑賞無料)
出演 O'Jizo
問合せ 日立シビックセンター 0294-24-7720

礼節の美

現在、私はプレイヤーとして第一線から離れている。しかし、その経験から今は運営の方を主に携わっている。

現役当時、将棋に対する考え方とし、「気合」「集中力」「流れ」などを念頭に対局に臨んでいた。しかしなかなか思うようにはいかず、対局中は冷静さを失い、苦い思いを何度も味わった。

対局にあたり、始めに駒を並べる作業に入る。それに際して上下関係のルールがあり、詳細は割愛させていただくが、相手に対しての礼というものがそこには見えてくる。

将棋への魂 ②

プロフィール
矢代 豊(やしろ ゆたか)

日立市生まれ

株式会社製作所・日立工場入社 日立会将棋部に所属
平成26年日立将棋連盟会長、ひたちこども将棋教室代表、茨城県支部連合会役員に就任
他、茨城新聞将棋観戦記担当



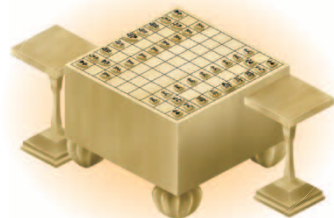
将棋の勝敗は他の競技と異なるところがあり、サッカー、野球など得点の多い方が勝つという競技ではなく、先に自玉の行き場がなくなつた時、いわゆる「詰んだ」時が負けとなる。

そこで負けた側が「負けました」あるいは「ありません」と相手に伝え、勝った側がそれに對し、「ありがとうございました」と敬意を表し勝敗は決する。

これが将棋の礼節と思われる。対局前の礼、対局後の礼が所作に現れ、将棋の美というものがそこにはある。

一般的に将棋の手数は100〜120手くらいで勝負が付く。まれに80手くらいの短手数で終えたり、200手を超える激闘を繰り広げる場合もある。

上級者になると、そんな戦いを再現することが出来、次の戦い、あるいは自身で納得するまで研究に没頭する方も少なくはない。



担っている。

勝率の高い有段者になると、そういった追い詰められた状況の中でも土俵を割らない粘り強さを発揮、勝負に持ち込む精神力を持ち合わせている。

運営のいろいろ

将棋大会は準備も含め9時〜開場となり、10時に試合開始と

将棋は二人で行う競技である。他の競技とは違い、プレイヤーでありながら、監督でもあり、コーチでもある。自身が冷静さを失った状況の中、的確なアドバイス、激励の言葉など、立て直す役目も

なる。そして昼食も含め16時くらいで終了となる。

参加者は、次の対局まで長時間待たされるのを嫌がる。そこには自分のリズムということが考えられる。対戦相手の調整を担う我々(スタッフ)の技量が問われるところでもある。

一日、将棋を楽しんでいただき、最高のパフォーマンスを発揮できるような環境を整えるのが私共の務め、スピーディーな進行公平な手合い(対戦相手)などを皆さんに提供、将棋に専念出来るよう努めたい。



第69回日立市民将棋大会



第70回日立市民将棋大会子供の部

日立シビックセンター 催し物ご案内

Hitachi Starlight Illumination 2025
ヒタチスターライトイルミネーション

11月15日(土)〜2026年1月12日(月・祝)

【会場】日立シビックセンター新都市広場
【料金】観覧無料
【点灯時間】午後4時30分〜午後10時
※11月15日(土)は午後4時45分〜の点灯イベントの中で点灯します。

その他楽しいイベントが盛りだくさん! 詳しい内容については、HP、チラシ等をご覧ください。

第33回 **ひたち秋祭り**

2025 **10.11(土) ▶ 10.12(日)**

日立シビックセンター新都市広場 **入場無料**

60周年を迎えた日立市民会館では人気アーティストの公演が目白押し!

この機会を見逃すな!!



石井竜也 スペシャルコンサート2026 IN HITACHI

日時 2026年2月21日(土)
午後5時開演

会場 日立市民会館ホール
料金 全席指定 9,500円

※未就学児入場不可

神田伯山 独演会

日時 2026年1月16日(金)
午後6時30分開演

会場 日立市民会館ホール
料金 全席指定 4,000円

※未就学児入場不可



渡辺美里 40周年 BITTER☆SWEET ULTRA POP TOUR 2025

日時 2025年11月22日(土)
午後5時45分開演

会場 日立市民会館ホール
料金 全席指定 11,000円

※3歳以下入場不可

※未就学児童は保護者1名につき1名まで膝上観覧可能です。

※客席を含む会場内の映像・写真が公開されることがありますので、予めご了承ください。

ひたちの文化のバックナンバー

財団HPにて
好評掲載中!



(<https://www.civic.jp/shiminkaikan/magazine>)

イベント詳細は
日立市民会館の
HPをチェック



編集後記

◆誌面の校正に取り掛かるとき、「これは間違い探しゲームだ」と意識的に捉えるようにしている

■人に書いていただいた(または自分で書いた)文章が国語的に正しいかどうか、それを判別する相手は専ら国語辞典である。言葉の意味や用例などを参照しながらひたすらチェックを重ねるのである◆だが、「ここが間違っているかも」と気付けるかどうかは己のセンス次第である

■そのため、最終チェックは必ず人数をかけて二重三重に行う。昔先輩から貰った貴重なアドバイスは今も必須工程だ◆ちなみに間違い探しゲームで最高難易度だと思つものは、某ファミレスの卓上に置いてあるイラスト形式のそれ。最後の一箇所を見つけれず歯痒い思いをしたことは数え切れない。

(A)

表紙の写真



日立市民会館60周年記念事業の企画にあたり建造当初の写真を広報に使おうと目論んだが、書庫を隅から隅まで探しても全くといいほど昔の写真が出てこない。きっと市民会館の先輩職員は様に断捨離を趣味としていたに違いない・・・と恨み節を吹き続けていたら、日立市郷土博物館から救いの手が差し伸べられ、表紙の写真をご提供いただいた。博物館の学芸員の皆様には最敬礼でお礼を申し上げたい。



発行 公益財団法人日立市民科学文化財団
「ひたちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内
TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633
HPアドレス <http://www.civic.jp>

※ご意見・ご感想をお寄せください。